

ねぎ、さといも、
にんにく、やまのいもの
無人航空機
による散布
適用拡大



ねぎのさび病



未成熟そらまめのさび病



ブロッコリーのべと病



えだまめのべと病



キャベツの菌核病



だいごんのワッカ症



レタスの菌核病



アスパラガスの萎枯病



はくさいのべと病



いちごの炭そ病

ん？
野菜の病気に
困っている？

解決
しましょう！

高品質をめざすアナタと良い関係、
アミスター。



アミスター[®]20
フロアブル

syngenta.

シンジェンタ ジャパン株式会社

農薬をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標

アミスター20フロアブルなら...

作用機分類番号(RAC番号) 殺菌剤分類 11

- 収穫前使用日数が**短く**、散布適期は**幅広く**、使い勝手に優れています。
- 雨に強く、**浸透移行性**による優れた**予防効果**があります。
- 各種野菜の、さまざまな病害に**高い効果**。同時防除にも最適です。

**適用
拡大**

適用病害の範囲及び使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロピン登録病害
小麦	紅色腐病	原液	4~8㎖/乾葉種子1kg 8㎖/乾葉種子1kg	は種前	1回	種子吹き付け処理 塗液処理	4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
	うどんこ病、赤さび病	2000~3000倍	100~200ℓ/10a 100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	2回以内
だいず	紫斑病	1.6~24倍	800㎖/10a	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機による散布	2回以内
えだまめ	腐敗粒、べと病	2000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内
きゅうり	うどんこ病、べと病	1500~2000倍		収穫前日まで	4回以内		4回以内
	灰色かび病、菌核病	1500倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内
にがうり	うどんこ病、べと病、炭疽病	2000倍		収穫7日前まで	3回以内		4回以内
うり類(食用用)	うどんこ病、つる枯病、べと病、炭疽病	1500~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内
メロン	うどんこ病、つる枯病、べと病			収穫前日まで	3回以内		3回以内
すいか	つる枯病、炭疽病			収穫前日まで	3回以内		3回以内
トマト	葉かび病、灰色かび病	2000倍		収穫3日前まで	3回以内		3回以内
なす	うどんこ病、すずかび病、褐色斑点病			収穫前日まで	3回以内		4回以内
夏たまねぎ	灰色腐敗病、べと病、灰色かび病			収穫3日前まで	4回以内		5回以内(枯病は1回以内、水和剤は4回以内)
たまねぎ	灰色腐敗病、べと病、灰色かび病			収穫前日まで	4回以内		4回以内
ねぎ	べと病、黄斑病、黒斑病、リノクニア葉鞘腐敗病	1.6倍	1.6ℓ/10a	収穫3日前まで	4回以内	無人航空機による散布	4回以内
わげき	さび病、べと病、黄斑病、黒斑病			収穫7日前まで	3回以内		4回以内
あさつき				収穫3日前まで	3回以内		4回以内
にら	白班葉枯病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
にんにく	葉枯病			収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
はくさい	さび病	20倍	1.6ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内		4回以内
	べと病、黒斑病、白さび病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内
レタス	菌核病、灰色かび病、べと病、すそ枯病		1.5~3ℓ/㎡	収穫30日前まで	2回以内	土壌灌注	(土壌灌注は2回以内)
非結球レタス	菌核病、灰色かび病、べと病			収穫7日前まで	4回以内		4回以内
キャベツ	菌核病、株腐病、黒斑病			収穫7日前まで	3回以内		3回以内
ブロッコリー	べと病、黒すす病	2000倍		収穫3日前まで	3回以内		2回以内
非結球あぶらな科葉菜類 (びんかみ、びんかみ、びんかみ)	白さび病			収穫7日前まで	2回以内		3回以内(枯病は1回以内、水和剤は2回以内)
みずな				親株育成期	3回以内	散布	6回以内
タマネギ	うどんこ病	1500~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	4回以内		(苗床では4回以内、本圃での土壌灌注は1回以内、本圃での散布は3回以内)
アザケ	炭疽病	2000倍		親株育成期	3回以内		4回以内
こまつな	炭疽病	2000倍		収穫前日まで	3回以内		(灌水は1回以内、散布は3回以内)
いちご	炭疽病	2000倍		親株育成期	3回以内		4回以内(枯病は3回以内)
	炭疽病	1500倍		収穫前日まで	4回以内		4回以内
アスパラガス	茎枯病、斑点病、褐斑病	2000倍		収穫14日前まで	3回以内		4回以内(枯病は3回以内)
てんさい	葉腐病、褐斑病	1500~4000倍		収穫14日前まで	3回以内		4回以内
	根腐病	500倍	ペー(ホト)開閉1ℓ(3ℓ/㎡)	定植前	1回	苗床灌注	4回以内(枯病は3回以内)
茶	炭疽病、輪斑病		100~400ℓ/10a	摘採14日前まで	3回以内		3回以内
エンダイブ	新梢枯死症(輪斑病菌による)、もち病			摘採21日前まで	1回		1回
らっしょう	炭疽病、すそ枯病			収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
パセリ	うどんこ病	100~300ℓ/10a		収穫45日前まで	1回		4回以内(枯病は3回以内、水和剤は1回以内)
みつば	炭疽病			収穫14日前まで	1回		1回
みょうが(花穂)	炭疽病		3ℓ/㎡	収穫3日前まで	4回以内	土壌灌注	4回以内(枯病は2回以内、水和剤は2回以内)
みょうが(葉菜)	炭疽病			収穫21日前まで	2回以内		2回以内
パプリ	べと病			収穫前日まで	2回以内		2回以内
しそ	斑点病、さび病			収穫21日前まで	3回以内		4回以内(枯病は1回以内、水和剤は3回以内)
クレソン	斑点病	100~300ℓ/10a		収穫14日前まで	4回以内		5回以内(枯病は1回以内、水和剤は4回以内)
だいこん	白さび病、ワッカ症			収穫7日前まで	3回以内		3回以内
せり	葉枯病			収穫7日前まで	3回以内		3回以内
あずき	さび病、炭疽病	2000倍	60~200ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内		3回以内
いんげんまめ	炭疽病、灰色かび病、菌核病、角斑病			収穫21日前まで	1回		1回
鷹こぼろ	うどんこ病			収穫30日前まで	4回以内	散布	4回以内
こおにたむらこ	菌核病			収穫前日まで	2回以内		6回以内(土壌灌注は1回以内、水和剤は3回以内)
はくさい	菌核病			収穫前日まで	4回以内		4回以内(枯病は3回以内)
ズッキーニ	うどんこ病			収穫前日まで	2回以内		2回以内
オクラ	うどんこ病			収穫前日まで	2回以内		2回以内
ピーマン	炭疽病			収穫7日前まで	2回以内		3回以内(枯病は1回以内、水和剤は2回以内)
煙草さび	白さび病	100~300ℓ/10a		収穫前日まで	2回以内		2回以内
わさび	白さび病、白班病			収穫7日前まで	3回以内		3回以内
かぶ	白さび病、白班病			収穫前日まで	3回以内		3回以内
さやいんげん	炭疽病、灰色かび病、菌核病、角斑病			収穫前日まで	3回以内		3回以内
さやえんどう	炭疽病、灰色かび病、菌核病、角斑病			収穫前日まで	3回以内		3回以内
あえんどう	炭疽病、灰色かび病、菌核病、角斑病			収穫前日まで	3回以内		3回以内
セルリー	炭疽病			収穫3日前まで	4回以内		4回以内
未成熟そらまめ	炭疽病			収穫前日まで	4回以内		4回以内
モロヘイヤ	炭疽病、炭疽病	3000~4000倍		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
ばれいしょ	黒あざ病	500倍	—	種付前	1回	種いも瞬間浸漬	5回以内(種いもへの処理は1回以内、種付時の土壌散布は1回以内、散布は3回以内)
	黒あざ病	100倍	10~200ℓ/10a	種付時	1回	種溝内土壌散布	4回以内(枯病は1回以内、水和剤は3回以内)
やまのいも	炭疽病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	4回以内(枯病は1回以内、水和剤は3回以内)
	炭疽病	2000倍	3.2ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	4回以内(枯病は1回以内、水和剤は3回以内)
さといも	炭疽病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	4回以内(枯病は1回以内、水和剤は3回以内)
	炭疽病	1.8倍	1.6ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
かんしょ	炭疽病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
せんぶり	炭疽病	32倍	1.6ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内		2回以内
しゅんぎく	炭疽病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	4回以内		4回以内
みしまさき	炭疽病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫21日前まで	2回以内		2回以内
食用さく	炭疽病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内		2回以内
きく	炭疽病	2000倍	100~300ℓ/10a	発病初期	5回以内	散布	5回以内
たばこ	炭疽病	2000~3000倍	100~180ℓ/10a	収穫10日前まで	2回以内		2回以内(枯病は1回以内、水和剤は2回以内)
とうき	炭疽病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫30日前まで	3回以内		3回以内
とうき(葉)	炭疽病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内		3回以内

■使用上の注意事項

- 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- 浸透性を高める効果のある展着剤を混用すると薬害を生じる場合がありますので、展着剤混用には事前にその適否を確認してください。
- いちご、なす、トマトの施設栽培で施設内が高温多湿な場合は、薬害を防ぐため散布後十分な換気を行ってください。また、特に散布後高温が予想される場合には使用しないでください。
- さやえんどうに使用する場合、高温多湿条件下では、莢に壊死斑が形成される薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- いちごの灰色かび病に対しては、多発生条件下では効果が劣る場合がありますので注意してください。
- はくさいに使用する場合、高温条件下では、結球前に散布すると薬害が生じるので使用しないでください。
- りんごの一部品種(あかね、旭、ガラ、さざし、モーリーズデリシャス、フリタン等)では、葉にネクロシス(褐変)や落葉、また果実にはさび果や落果を伴う品種特有の激しい薬害が生じるので飛散(ドリフト)等により散布液がかからぬよう十分注意してください。
- また、本剤を使用した散布器具及び希釈液タンクを用いて、りんごのこれら品種には散布しないでください。
- 非結球レタスに使用する場合は、幼苗期に散布すると薬害が生じるので、幼苗期には使用しないでください。
- しそは斑点病に使用する場合、株元を中心に散布してください。
- 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落とすようにしてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 耐性菌の出現を防ぐため、過度の連用を避け、なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番で使用してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ①散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ②散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中、薬液の漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ④散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ⑤ねぎに使用する場合は、葉面に薬液による汚れが生じないように、収穫間際の散布は注意してください。
 - ⑥散布終了後は次の項目を守ってください。(a)使用後の空容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。(b)使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。(c)機体の散布装置は十分洗浄してください。また、薬液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないでください。
 - ⑦散布液が池、河川などに入らないように注意してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を薬害の無害を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管...直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所に置かないでください。●使用後の空容器は園場等に放置せず適切に処理してください。



最新の登録内容は
こちらからご覧いただけます

シンジェンタ ジャパン株式会社
〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワー-X21階
www.syngenta.co.jp

